

計画の推進体制と役割分担

1 庁内組織の横断的連携機能の充実

2 民間企業・団体による推進体制の確立

3 官民学の密接な連携による推進

商工会議所・商工会

- ◆ 地域経済の活性化に向けた相乗効果を高めることを担う、関連事業者との調整役
- ◆ 新規事業や新規商品の開発支援
- ◆ 新たな観光コンテンツを生み出す推進役

市民

- ◆ 地域に対する誇りと愛着を育み、観光振興への理解・参画
- ◆ 観光客を“おもてなしの心”でお出迎え
- ◆ 観光ガイドやボランティアなどの活動における観光客との積極的な交流

観光関連事業者

- ◆ 来訪者に快適なサービスと唯一性の高い体験価値の提供
- ◆ ご当地を代表する新たなメニュー開発
- ◆ 現代のニーズや暮らしにマッチした訴求力・話題性のある商品開発
- ◆ 収穫体験や農業見学など観光客誘致に繋がる取組
- ◆ 観光スポットや事業者と緊密に連携した周遊の促進に向けた取組

「オール春日部」体制の構築

観光協会

- ◆ 観光資源の情報や魅力を広く提供し、観光誘客を推進
- ◆ 観光振興に関する具体的な事業を実施
- ◆ 事業者や市民などが実施する事業の支援
- ◆ 観光に関わる人材の育成

行政

- ◆ 施策の企画立案および計画の推進
- ◆ 観光ビジョンの普及啓発、観光ブランディングの推進
- ◆ 地域全体を挙げて観光客誘致の機運を高めるための活動
- ◆ 事業者や市民の連携をサポートし、観光ビジョンの実現に向けた具体的な取組の後押し

教育機関

- ◆ “観光まちづくり”に関する学生フィールドワークの開催
- ◆ 学生がまちを知る機会の提供

関係機関・県
近隣市町など

連携

春日部市観光振興基本計画

2019－2027

概要版



KASUKABE



計画策定の背景・目的

観光客とともに地域の魅力や豊かさを実感できる観光地の実現を目指します。

日本の観光産業は、今や国の重要な成長戦略のひとつとして位置づけられています。

本市においても、観光を取り巻く環境変化による追い風や機会を捉え、課題を見据えながら、「観光地としての春日部市」の魅力を磨き上げ、その価値と個性を社会に広く発信していくことが求められています。

観光は、総合産業であり“まちづくり”とも強く連動していることから、観光が地域経済に与える影響は大きいと言えます。

そこで、市民や観光に関わる多様な産業従事者・関連団体と行政が緊密に連携し、郷土への愛着や誇りを感じる新たな“観光まちづくり”を推進することにより、観光客とともに地域の魅力や豊かさを実感できる観光地の実現を目指して、「春日部市観光振興基本計画」を策定するものです。

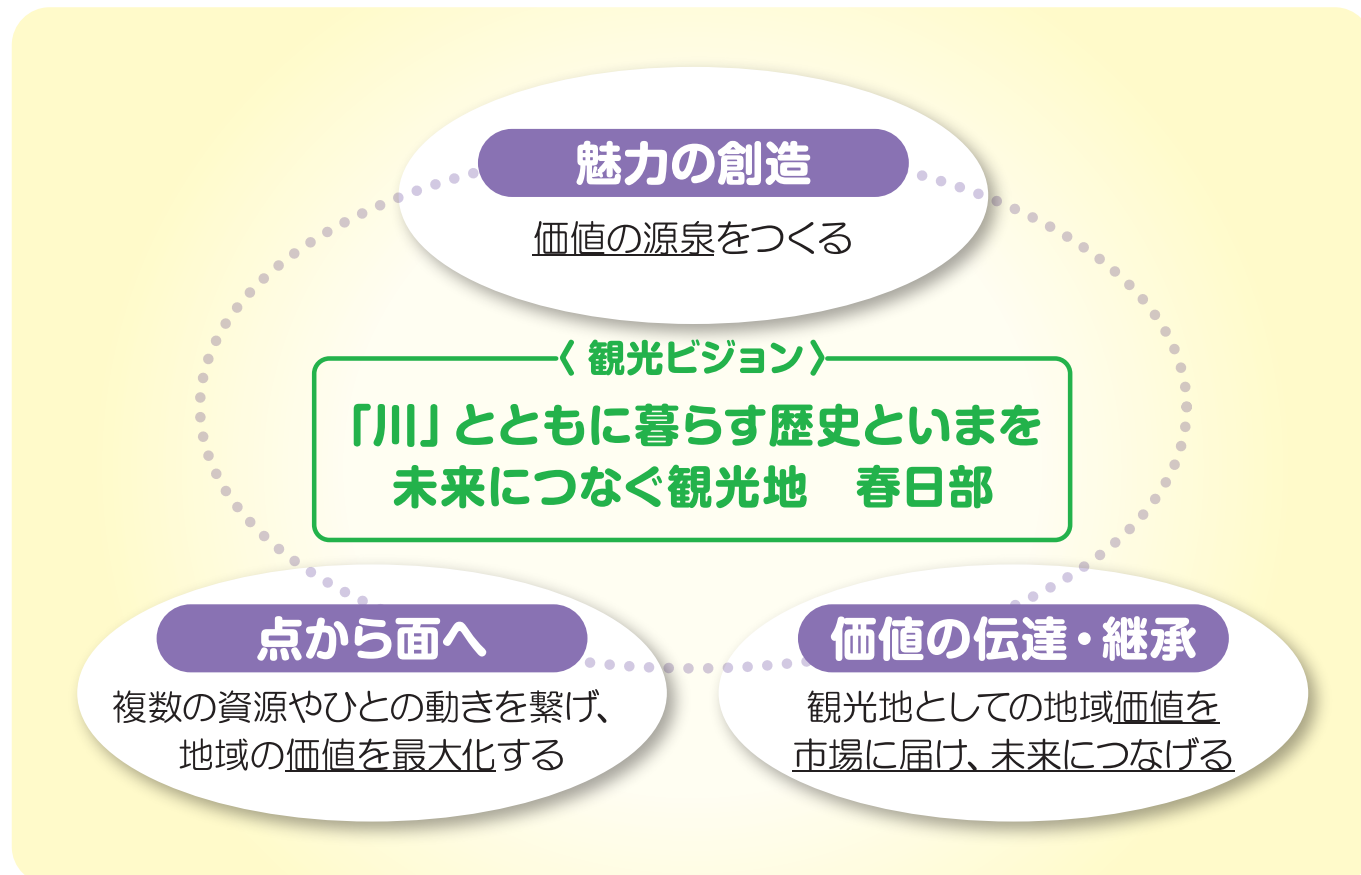
「観光地 春日部」が目指す観光ビジョン

「川」とともに暮らす歴史といまを 未来につなぐ観光地 春日部

豊かな水によって先史時代から人が居住し、豊かな農作物が育つ春日部。その歴史と都市の持続可能性を象徴する治水施設を地域観光の顔とし、人と川（水）の関わりの歴史と未来を考える持続可能性を伝える“観光まちづくり”を進めていきます。

このビジョンには、川（水）の恵みや、それとの共生の歴史ならびに最先端の土木技術を結集した施設などを活用し、旅の持つ「場の力」を通じて土地が紡いできたストーリーを来訪者が楽しく体感できる観光地で有り続けたいという想いを込めました。

観光ビジョンの達成に向けた3つの基本的な考え方



基本方針

基本方針

個別戦略

① 観光資源魅力向上・創出

来訪者のニーズを汲んだ唯一性のある高価値な観光体験をつくる

- ◆観光資源の魅力向上・創出
- ◆周遊の促進による観光消費機会の拡大
- ◆来訪者のリピーター化促進と関係人口の拡大

② 観光ブランディング

春日部の観光の「顔」となる象徴的なビジュアルイメージを市場に浸透させる

- ◆春日部市の観光イメージの構築と発信
- ◆観光誘致戦略の強化
- ◆旅行者起点の情報発信機会の創出と促進

③ 受入基盤強化

観光市場や社会環境の変化に適合し継続的に観光が発展する体制をつくる

- ◆訪日外国人旅行者などの受入体制整備
- ◆川を生かした水辺の賑わいづくり

④ 地域のちから活用

観光産業におけるさまざまな人材の活躍機会を拡大する

- ◆市民の観光への参画意欲の醸成と機会の創出
- ◆観光関連産業従事者の受入体制強化と、積極的な人材活用の仕組みづくり

⑤ 観光推進体制の強化

計画を適切に推進する体制と基盤をつくる

- ◆迅速な施策実行につながる観光マーケティング手法と実施体制の構築
- ◆災害を見据えた観光危機管理体制の強化

将来目標値の設定

観光入込客数を増やすとともに、複数のスポットでの滞在や食のメニューの開発、体験観光の促進などによる一人あたり消費額の増加を促進することにより、市内観光消費額の増加を目指していきます。

指標	現状値 2017年	目標値（）内は伸び率	
		2022年	2027年
観光入込客数	185万人（*1）	203万人（10%）	212万人（15%）
来訪経験率（県外の首都圏在住者）	19.3%	22%（15%）	25%（30%）
来訪意向	17.0%	21%（25%）	25%（50%）
再訪意向	74.7%	78%（5%）	82%（10%）
市内消費額（一人あたり平均）	4,673円	5,140円（10%）	5,370円（15%）
市内消費額（全体）（*2）	86.4億円	104億円	113億円

*1：2016（平成28）年

*2：「市内消費額（全体）」=1 観光入込客数 × 5 市内消費額（1人あたり平均）と試算